

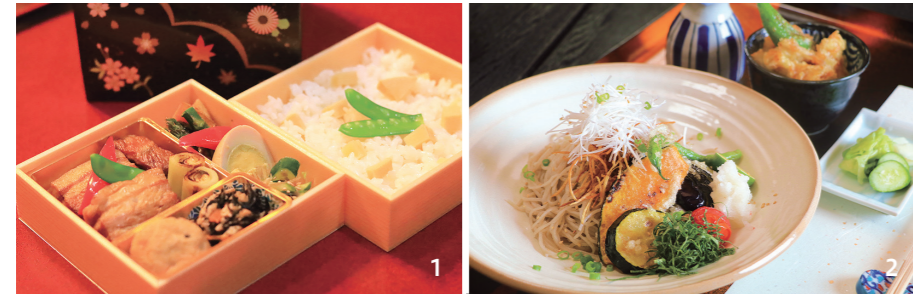
季節の移ろいを感じ、旅行気分を味わってほしい

「自粛中、仙台屋さんの料理をずっと食べたかったです」。緊急事態宣言の解除後、真っ先に電話をくださったお客さんの言葉に嬉しさがこみ上げました。自宅でも安心して店の味を楽しんでもらえるように、当店らしい弁当販売を始めました。二段重箱には、豚

の角煮や夏野菜の素揚げ、筍ご飯など、季節の移ろいを感じられる自慢の逸品を詰め合わせ。ちょっと旅行した気分になれるような、ワンランク上の弁当に仕上げました。自粛中の楽しみとなるよう、皆さんの笑顔を思い浮かべ、心を込めて作ります。



割烹 仙台屋
鈴木 堅之さん



1 「和弁当」1,200円（2日前に要予約） 2 毎月第4水曜限定の半田銀山そばを食べる会（昼のみ）再開



酒菜 もくれん
宍戸 江美子さん

開店直後の予期せぬ事態を乗り越えて

今年2月にオープンし、これから頑張ろうと意気込んでいた矢先に、新型コロナウイルスの感染拡大。予期せぬ事態に先行きが不安になりましたが、町の皆さんに支えられ、弁当の営業を再開することができました。

多くの人のニーズに応えられるよう、

常に約10種類の弁当を用意。彩り豊かなおかずを詰め込み、見ても、食べても元気が出る弁当にしようと心掛けています。状況が落ち着き次第、夜の営業も再開します。「桃源郷」「もくれん」などのオリジナルカクテルもありますので、ぜひご賞味ください。



1 唐揚げ弁当やロコモコ弁当など、スタミナ満点なメニューが豊富 2 町内は1個の注文から配達可能

interview / テイクアウトを利用して



鈴木 由美さん

ピザスタには、オープン当初から何度も訪れています。飲食店の営業自粛が続く中、テイクアウトが始まったと聞き、すぐに駆けつけました。先日夕方に来た際は生地が売り切れで、今日はそのリベンジに。無事に買って良かったです。子どもと一緒に、家族みんなでおいしくいただきます。



安齊 公子さん

町内各飲食店のテイクアウト弁当を楽しんでいます。今日は、職場のみんなで照寿しの海鮮丼と親子丼を注文しました。なかなか店舗で飲食できない状況の中、テイクアウトをして、お店の味を楽しむことができうれしいです。少しでも飲食業の皆さんの力となればいいなと思っています。

お店の味を家庭で楽しむ 応援の輪広がる

新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛や店舗の営業制限が続く中、町内の飲食店で、テイクアウト（持ち帰り）の輪が広がっています。5月7日にリニューアルオープンした「ピザスタ」では、6月7日まで町内に限り配達を実施。6月9日

から店内での通常営業を再開しますが、テイクアウトの注文は引き続き受け付けます。同店を運営する町振興公社の渡邊美昭理事長は「お客さんの安全安心が一番。誰もが安心して食事を楽しめるように、テイクアウトも続けていきたい。こんな状況だからこそ、家に居てもおいしいお店の味で、身も心も元気になってほしい」と話します。

町内各地へ弁当を届ける、齊藤笑店では、マスクを着け、細心の注意を払って配達。齊藤幹夫さんは「年度末の各総会が自粛で中止となり、その分の注文がゼロになった。不安な中、配達先での『ありがとう』の言葉に元気をもらっている」と前を向きます。照寿しの店主幕田照雄さんは「夜の宴会がメインだったので、売り上



大好きなピザを受け取ってにっこり。ピザスタスタッフもお客さんも、互いに「こんな時に、ありがとう」が飛び交います
●テイクアウト実施店舗 / 9ページでも詳しく紹介します。

町内飲食店でテイクアウト実施 弁当で広がる笑顔 “エールごはん”

「お客さんを呼びたくても呼べない」。新型コロナウイルス感染拡大により、飲食業が苦境に立たされる中、テイクアウトで飲食店を応援する動きが広がっています。